

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：卸売業・小売業（業務用酒販卸）

企業名：株式会社名畑（大阪府大阪市）

【従業員数：90名】

クラウド実践により紙の山から解放され、受注コスト削減、受注データ間違いを撲滅

1 経営課題

・FAX受注を「手書きOCR」により処理していたがこれを取りやめ、顧客から発注情報をデータで取得できる環境を作り、外注コストの削減を図りたい。

・また、発注側が全国チェーン店の場合、自社の配送エリア外の地域には協力店による代配となるが、協力店への代配依頼がFAXであるためクラウド化により効率化を図りたい。

2 クラウド実践による課題解決

・発注側の理解が得られれば、受注業務へデータ取得から出荷完了報告までボタン操作で完了できるクラウドサービスの導入を進めた。

・さらに、クラウドサービスに蓄積される受注情報を、自社配送エリア外の地域への代配処理に再利用できるようにクラウド型でのシステム構築（自社製作）を行った（今までFAXでの代配依頼だったが、WEB上で協力酒販店（316店）が代配先・商品名・数量を確認。市販サービスがなかったため自社開発となった。）。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：1年）

・株式会社インフォーマット BtoBプラットフォーム受発注

・レンタルサーバーを使って自社製作 代配Web

4 課題解決に向けた組織運営

・発注側が同じクラウドサービスを利用しているため、受注得意先（全国展開チェーン店）増加したため、協力店の協力が必須となった。

・全国展開チェーン店にも簡単に代配管理ができる様になり、増え続ける代配先の管理にFAXの山から開放された。

5 実践事例の成果

・今までFAXではできなかったことがインターネット環境を使うことで正確確実にリアルタイムに受発注双方で確認できるようになった。従来は手書きの指示書や業務報告をFAXやOCRを使ってやり取りしていたが、社員がFAX端末の反応を見ながら確認訂正など手間と時間を要していたが、大幅に解消された。

・受発注業務が全てペーパーレス化できた訳ではありませんが、現在女子社員1名で管理できており、今後、受注が増加しても担当社員を増員する予定はない。